

マイタウン 2014年5月号に掲載

内科



福本 学

ピロリ菌との関連が疑われる疾患

収を低下させるため、貧血になりやすいと言われている。

ヘリコバクターピロリ（以下ピロリ菌）感染は胃がんのリスクであることはよく知られてきました。他にも特発性血小板減少性紫斑病やMALTリンパ腫という疾患は、ピロリ菌感染と関連があり、除菌治療が推奨されます。また慢性じんま疹、鉄欠乏性貧血、虚血性心疾患とピロリ菌感染との関係が注目されています。慢性じんま疹の患者がピロリ菌陽性の場合、除菌が成功すれば70%が、じんま疹が改善するという報告があります。また、ピロリ菌の感染は鉄分の吸

さらには、ピロリ菌感染者は血清のCRPやフィブリノーゲンなどの炎症の指標が高く、動脈硬化が促進されるため、虚血性心臓病が起こりやすくなるのではないかと考えられます。研究がすすめられていきます。ピロリ菌の検査は採血や検便で可能ですが、保険診療で行うには条件があります。

内科

新百合山手福本内科
☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2
メディカルモリノビル 2F
<http://www.fukumotonaika.jp>

